



2026年度第1四半期 決算説明資料

東ソー株式会社

2026年8月4日

■ 2026年度第1四半期業績

決算概要	4
連結対象会社・主要指標	5
セグメント区分の変更	6
売上高・営業利益分析（セグメント別）	7
業績概要	8
営業外損益及び特別損益等	13
連結貸借対照表（要約）	14
連結キャッシュ・フロー計算書（要約）	15

■ 2026年度業績予想

業績予想概要	17
主要指標	18
売上高・営業利益（セグメント別）	19
営業外損益及び特別損益等	20
株主還元	21

■ 参考

連結業績推移	23
売上高分析（チェーン事業・先端事業内訳）	24

2026年度第1四半期業績

(単位：億円)

	25年度 1Q	26年度 1Q	増減	
売上高	2,451	2,742	290	+：中東情勢の緊迫化によりナフサ価格及び主要製品の海外市況が上昇し、販売価格が上昇 +：為替が円安で推移したことに伴い販売価格が上昇
営業利益	161	312	151	+：ナフサ価格の大幅な上昇により在庫受払差が大きく改善 +：付加価値素材、高機能材料の出荷が増加
経常利益	141	343	202	+：為替差益計上による営業外損益の改善
親会社株主に帰属する四半期純利益	65	195	129	

為替レート	(円/USD)	144.6	159.6	15.0
[TTM期中平均]	(円/EUR)	163.8	185.4	21.6
国産ナフサ	(円/KL)	66,300	118,500	52,200
ベンゼン	(USD/T)	728	1,043	315
P V C	(USD/T)	657	853	196
V C M	(USD/T)	536	779	243
液体苛性ソーダ	(USD/T)	455	453	△ 2
M D I (モノメリック)	(USD/T)	1,786	2,266	480
M D I (ポリメリック)	(USD/T)	1,847	2,212	365

連結対象会社・主要指標

連結対象会社

(単位：社)

	25年度 1Q	26年度 1Q	増減	内訳
連結子会社	90	89	△ 1	－：東洋ポリマー（株）（基）
持分法会社	15	15	-	
連結対象会社	105	104	△ 1	

基：基礎素材

主要指標

(単位：億円)

	25年度 1Q	26年度 1Q	増減
設備投資額	258	228	△ 30
減価償却費	115	122	6
研究開発費	60	61	1
有利子負債	1,973	2,888	915
金融収支	4	△ 2	△ 6
自己資本比率（％）	62.0	57.3	△ 4.7
従業員数（人）	14,877	15,109	232

(注) 有利子負債にはリース債務を含む

セグメント区分の変更

<2025年度以前>

セグメント	セグメント内訳	※事業区分
石油化学	オレフィン	コモディティ
	ポリマー	
	機能性ポリマー	
クロル・アルカリ	化学品	スペシャルティ
	ウレタン	
	機能性ウレタン	
	セメント	
機能商品	有機化成品	先端
	バイオサイエンス	
	高機能材料	
エンジニアリング	水処理エンジニアリング・建設・修繕	エンジニアリング

<2026年度以降>

セグメント	セグメント内訳	※事業区分
基礎素材	オレフィン	チェーン
	ポリマー	
	化学品	
	ウレタン	
	セメント	
付加価値素材	機能性ポリマー	先端
	機能性ウレタン	
	有機化成品	
バイオサイエンス	バイオサイエンス	先端
高機能材料	高機能材料	
水処理エンジニアリング	水処理エンジニアリング	



売上高・営業利益分析 - セグメント別

売上高分析

(単位：億円)

	売上高			増減要因		
	25年度 1Q	26年度 1Q	増減	数量差	価格差	うち為替 の影響
チェーン事業	1,494	1,677	183	△ 15	198	47
基礎素材	1,117	1,248	131	△ 46	177	29
付加価値素材	376	429	52	30	22	18
先端事業	833	917	84	63	21	37
バイオサイエンス	154	154	0	△ 9	10	8
高機能材料	301	343	42	42	0	18
水処理エンジニアリング	378	420	42	31	11	11
その他	124	148	23	16	7	0
合 計	2,451	2,742	290	64	227	84

営業利益分析

(単位：億円)

	営業利益			増減要因		
	25年度 1Q	26年度 1Q	増減	数量差	交易 条件	固定費 差他
チェーン事業	5	139	133	8	△ 12	137
基礎素材	△ 34	57	90	△ 4	△ 9	104
付加価値素材	39	82	43	12	△ 2	33
先端事業	143	155	12	11	18	△ 16
バイオサイエンス	46	57	11	△ 2	18	△ 4
高機能材料	25	32	7	19	0	△ 12
水処理エンジニアリング	72	66	△ 6	△ 6	0	0
その他	13	19	6	6	0	0
合 計	161	312	151	24	6	121

(注) 当期からのセグメント変更に伴い一部の事業の所管を見直したため、2025年度の数値につきまして、5/13発表の参考数値から一部変更しております。

業績概要 – 基礎素材

(単位：億円)

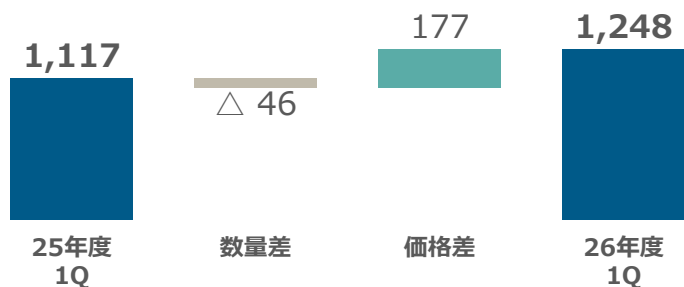
	基礎素材						
	25年度 1Q	26年度 1Q	増減	数量差	価格差	交易 条件	固定費 差他
売上高	1,117	1,248	131	△ 46	177	-	-
営業利益	△ 34	57	90	△ 4	-	△ 9	104

売上高：

- ・エチレン、プロピレン及びキュメンは、四日市事業所エチレンプラント等の定修年及び原料ナフサ、プロピレン需要見合いでの生産量減少に伴い、出荷が減少
- ・エチレン及びプロピレンは、ナフサ価格の上昇により販売価格が上昇
- ・キュメンは、海外市況上昇の影響を受け販売価格が上昇
- ・ポリエチレン樹脂は、中東情勢の影響により需要の先取りが発生していることに加え、半導体分野向けHDPE樹脂やラミネート用LLDPE樹脂の販売が堅調に推移しており、前年同期に比べて出荷が増加、ナフサ価格の上昇により販売価格は上昇
- ・苛性ソーダは、南陽事業所の定期修繕規模の違いによる生産量の増加に伴い出荷が増加、海外市況の下落により輸出価格は下落
- ・塩化ビニルモノマーは、中東情勢の影響による原料調達懸念により生産量が減少し出荷が減少
- ・塩化ビニル樹脂は、国内外で出荷が増加
- ・塩ビ製品は、海外市況の上昇により海外販売価格が上昇
- ・セメントは、需要低調により国内出荷が減少、国内販売価格は上昇
- ・ジフェニルメタンジイソシアネート（MDI）は、南陽事業所の定期修繕規模の違いによる生産量の増加に伴い出荷が増加、中東情勢の影響により海外市況が上昇したことで販売価格が上昇

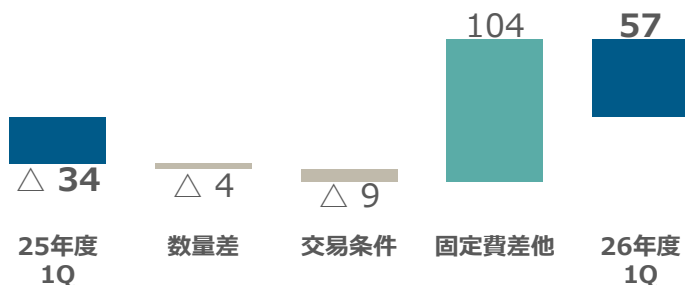
売上高分析

(単位：億円)



営業利益分析

(単位：億円)



営業利益：

- エチレン、プロピレン、キュメン等の出荷が減少し、原燃料価格の上昇により交易条件が悪化したものの、在庫受払差が大きく改善したことにより増益

業績概要 – 付加価値素材

(単位：億円)

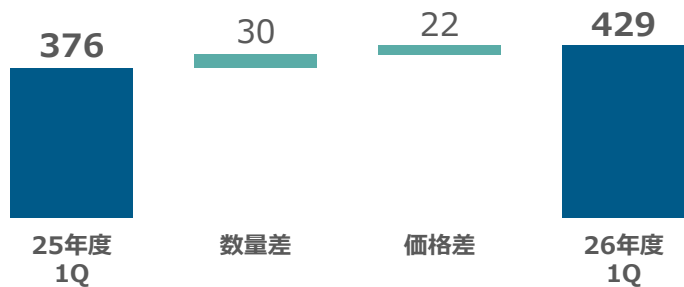
	付加価値素材						
	25年度 1Q	26年度 1Q	増減	数量差	価格差	交易 条件	固定費 差他
売上高	376	429	52	30	22	-	-
営業利益	39	82	43	12	-	△ 2	33

売上高：

- ・クロロプレンゴムは、中東情勢の影響により出荷が増加、ブタジエン市況も中東情勢の影響により上昇しているため、販売価格は上昇
- ・ヘキサメチレンジイソシアネート（HDI）系硬化剤は、中東情勢の影響に伴う需要増加と海外市況の上昇により、出荷が増加し販売価格も上昇
- ・エチレンアミンは、中東情勢の影響によりアジア地域における引き合いが増加し出荷が増加、為替の影響により販売価格は上昇

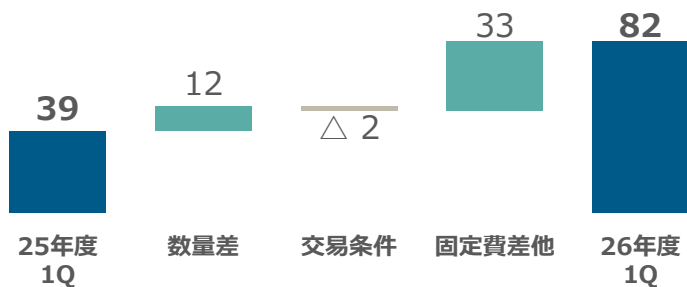
売上高分析

(単位：億円)



営業利益分析

(単位：億円)



営業利益：

エチレンアミンやクロロプレンゴムの出荷の増加や、在庫受払差の改善により増益

業績概要 – バイオサイエンス

(単位：億円)

	バイオサイエンス						
	25年度 1Q	26年度 1Q	増減	数量差	価格差	交易 条件	固定費 差他
売上高	154	154	0	△ 9	10	-	-
営業利益	46	57	11	△ 2	-	18	△ 4

売上高：

- ・計測関連商品は、欧州で液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が減少
- ・診断関連商品は、国内で体外診断用医薬品の出荷が増加、欧州で自動ヘモグロビン分析装置用の関連試薬の出荷が増加

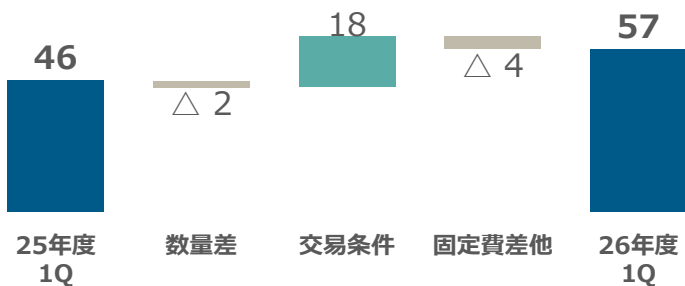
売上高分析

(単位：億円)



営業利益分析

(単位：億円)



営業利益：

液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が減少したものの、為替の影響や製品構成差による交易条件の改善により増益

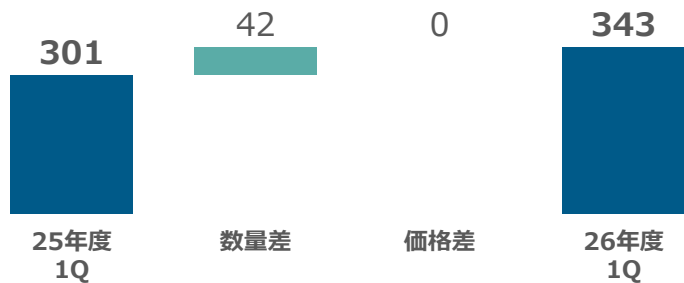
業績概要 一高機能材料

(単位：億円)

	高機能材料						
	25年度 1Q	26年度 1Q	増減	数量差	価格差	交易 条件	固定費 差他
売上高	301	343	42	42	0	-	-
営業利益	25	32	7	19	-	0	△ 12

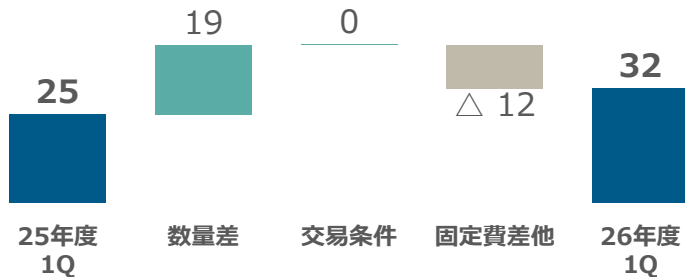
売上高分析

(単位：億円)



営業利益分析

(単位：億円)



売上高：

- ・ハイシリカゼオライトは、国内は自動車及び環境用途、海外はアジア向けの自動車用途や石油化学触媒用とを中心に出荷が増加、欧州においては出荷が減少したものの全体としては出荷が増加
- ・ジルコニアは、装飾用途や欧州における歯科用途の出荷が増加
- ・石英ガラスは、半導体用途において、旺盛なA I 需要を背景に、国内及び東アジア地域での出荷が増加、北米向けは出荷が減少したものの、全体としては出荷が増加
- ・スパッタリングターゲットは、国内出荷は前年同期並み、海外において半導体用途の出荷が増加
- ・電解二酸化マンガンは、乾電池用途において国内出荷は増加、海外向けの出荷が減少し、全体としては出荷が減少

営業利益：

固定費が増加したものの、石英ガラスやハイシリカゼオライト等の出荷の増加により増益

業績概要 - 水処理エンジニアリング・その他

(単位：億円)

	水処理エンジニアリング						
	25年度 1Q	26年度 1Q	増減	数量差	価格差	交易 条件	固定費 差他
売上高	378	420	42	31	11	-	-
営業利益	72	66	△ 6	△ 6	-	0	0

売上高：

- ・半導体関連の大型案件の受注が続く台湾において売上が引き続き高水準で推移するなか、米国でも大型案件が順調に推移し、設備保有型サービスなどのソリューション案件も好調に推移したことから、売上高は増加

営業利益：

- ・前年同期に売上計上した好採算のプラント案件の反動による利益率の低下に加え、人件費やIT関連支出などの費用増加により減益

(単位：億円)

	その他						
	25年度 1Q	26年度 1Q	増減	数量差	価格差	交易 条件	固定費 差他
売上高	124	148	23	16	7	-	-
営業利益	13	19	6	6	-	0	0

＜その他＞

- ・運送・倉庫、建設・修繕、検査・分析、情報処理等その他の売上高は増加

営業外損益 及び 特別損益等

(単位：億円)

	25年度 1Q	26年度 1Q	増減
営業利益	161	312	151
金融収支	4	△ 2	△ 6
為替差損益	△ 32	17	49
持分法損益	6	9	4
その他	3	7	4
営業外損益	△ 20	31	51
経常利益	141	343	202
投資有価証券売却益	16	0	△ 16
固定資産除却損	△ 5	△ 11	△ 7
その他	1	0	△ 1
特別損益	12	△ 11	△ 24
法人税等	△ 65	△ 112	△ 47
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 23	△ 25	△ 2
親会社株主に帰属する四半期純利益	65	195	129

連結貸借対照表（要約）

（単位：億円）

	26年 3月末	26年 6月末	増減
資 産	14,090	14,689	600
現金及び預金	1,796	1,914	117
受取手形及び売掛金他	2,906	3,049	143
棚卸資産	2,435	2,546	112
その他流動資産	844	845	1
有形・無形固定資産	4,383	4,498	115
投資有価証券	806	865	60
その他投資等	920	972	52
資産合計	14,090	14,689	600

	26年 3月末	26年 6月末	増減
負 債	4,898	5,403	504
支払手形及び買掛金	1,089	1,108	20
有利子負債	2,351	2,888	537
引当金他	1,459	1,406	△ 53
純資産	9,191	9,287	95
資本金	552	552	-
資本剰余金	445	445	0
利益剰余金他	7,666	7,760	94
自己株式	△ 344	△ 344	0
非支配株主持分	873	875	1
負債・純資産合計	14,090	14,689	600

（注）有利子負債にはリース債務を含む

総資産：現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産、有形固定資産の増加等により増加

負債：短期借入金、長期借入金の増加等により増加

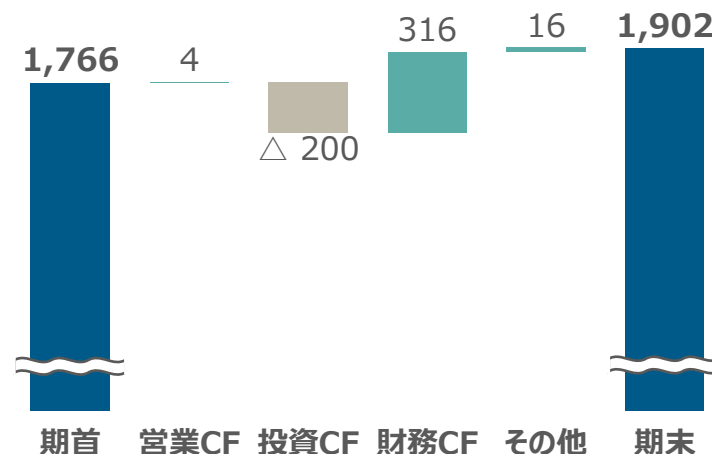
純資産：親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、その他有価証券評価差額金の増加等により増加

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：億円）

		25年度 1Q	26年度 1Q	増減
営業キャッシュ・フロー	税引前四半期純利益	153	332	178
	減価償却費	120	125	5
	法人税等	△ 82	△ 168	△ 86
	その他	173	△ 286	△ 459
	計	365	4	△ 362
投資キャッシュ・フロー		△ 257	△ 200	58
フリー・キャッシュ・フロー		108	△ 196	△ 304
財務キャッシュ・フロー	借入金	150	500	351
	配当金	△ 159	△ 154	5
	その他	△ 25	△ 31	△ 6
	計	△ 35	316	350
現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 26	16	42
増減		47	136	89
現金及び現金同等物（期首）		1,388	1,766	377
現金及び現金同等物（期末）		1,435	1,902	466

（単位：億円）



営業CF：税金等調整前四半期純利益が増加も、売上債権及び棚卸資産の増加、法人税等の支払額の増加等により収入が減少
投資CF：設備投資による支出の減少等により支出が減少
財務CF：短期借入金及び長期借入金の増加等により収入が増加

2026年度業績予想

業績予想概要

(単位：億円)

	25年度	26年度 (予想)	増減	上期	下期
売上高	10,199	11,700	1,501	5,800	5,900
営業利益	955	1,050	95	500	550
経常利益	1,068	1,070	2	520	550
親会社株主に帰属する当期純利益	416	590	174	280	310
為替レート (円/USD)	150.7	159.9	9.2	159.8	160.0
[TTM期中平均] (円/EUR)	174.6	185.1	10.5	185.2	185.0
国産ナフサ (円/KL)	65,200	90,625	25,425	104,250	77,000
ベンゼン (USD/T)	737	800~900	-	900~1,000	750~850
P V C (USD/T)	637	750~850	-	800~900	700~800
V C M (USD/T)	493	550~650	-	600~700	500~600
液体苛性ソーダ (USD/T)	430	350~450	-	350~450	350~450
M D I (モノメリック) (USD/T)	1,754	1,900~2,050	-	2,050~2,200	1,750~1,900
M D I (ポリメリック) (USD/T)	1,637	1,900~2,050	-	2,050~2,200	1,750~1,900

<前期比>

ナフサ価格及び主要製品の海外市況が上昇し、為替も円安に推移していることから販売価格が上昇し、高機能材料や水処理エンジニアリングの売上も堅調なことから、売上高は前期に比べ増収となる見込み。
営業利益は、増収要因に加え、ナフサ等原燃料価格の上昇に伴う在庫受払差の改善もあり、前期に比べ増益となる見込み。
当期純利益は、トーソー・SMD, Inc. の固定資産に係る減損損失を前期に計上したことから、前期に比べ増益となる見込み。

(単位：億円)

	25年度	26年度 (予想)	増減
設備投資額	727	960	233
減価償却費	462	530	68
研究開発費	230	270	40
有利子負債	2,351	2,840	489
金融収支	△ 3	△ 29	△ 26
自己資本比率 (%)	59.0	56.0	△ 3.0
従業員数 (人)	14,850	15,300	450

(注) 有利子負債にはリース債務を含む

売上高・営業利益 - セグメント別

(単位：億円)

	売上高			営業利益			売上高		営業利益	
	25年度	26年度 (予想)	増減	25年度	26年度 (予想)	増減	上期	下期	上期	下期
チェーン事業	6,051	6,977	926	258	245	△ 13	3,563	3,413	115	130
基礎素材	4,501	5,193	693	1	△ 27	△ 28	2,647	2,546	△ 31	4
付加価値素材	1,550	1,783	233	257	272	15	916	868	146	126
先端事業	3,604	4,172	568	638	761	122	1,947	2,225	357	404
バイオサイエンス	682	739	57	193	218	25	343	395	109	109
高機能材料	1,153	1,433	280	64	137	73	704	730	68	69
水処理エンジニアリング	1,769	2,000	231	381	405	24	900	1,100	180	226
その他	544	551	7	59	45	△ 14	290	262	29	16
合 計	10,199	11,700	1,501	955	1,050	95	5,800	5,900	500	550

＜基礎素材＞

- ・ナフサ等原燃料価格や主要製品の海外市況上昇、為替円安により販売価格が上昇し増収
- ・在庫受払差は改善も、交易条件の悪化（原燃料価格上昇＞販売価格上昇）や出荷減により減益

＜付加価値素材＞

- ・堅調な出荷に加え、原燃料価格や海外市況の上昇、為替円安により販売価格が上昇し増収
- ・交易条件の悪化（原燃料価格上昇＞販売価格上昇）も、在庫受払差の改善により増益

＜バイオサイエンス＞

- ・堅調な出荷と為替円安により増収、在庫受払差の改善もあり増益

＜高機能材料＞

- ・半導体需要の回復に伴う、石英ガラスやスパッタリングターゲットの事業損益改善などにより増収・増益

＜水処理エンジニアリング＞

- ・海外先端半導体の大型プラント案件の順調な進捗、ソリューション事業の拡大により増収・増益

(注) 当期からのセグメント変更に伴い一部の事業の所管を見直したため、2025年度の数値につきまして、5/13発表の参考数値から一部変更しております。

営業外損益 及び 特別損益等

(単位：億円)

	25年度	26年度 (予想)	増減
営業利益	955	1,050	95
金融収支	△ 3	△ 29	△ 26
為替差損益	66	△ 2	△ 68
持分法損益	26	25	△ 1
その他	23	27	3
営業外損益	112	20	△ 92
経常利益	1,068	1,070	2
投資有価証券売却益	39	11	△ 28
投資有価証券売却損	△ 2	0	2
固定資産除却損	△ 17	△ 28	△ 11
減損損失	△ 196	0	196
その他	1	0	△ 1
特別損益	△ 174	△ 17	157
法人税等	△ 319	△ 301	18
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 158	△ 162	△ 4
親会社株主に帰属する当期純利益	416	590	174

株主還元方針：2025～2027年度

- ・総還元性向50%を基本とする
年間1株100円（下限）配当を実施し、配当性向が50%未満であれば自己株式取得により総還元性向を50%にする
- ・追加的株主還元として、3ヶ年で500億円の自己株式を取得する

<参考>

		24年度	25年度	26年度 (予想)	26年度 (前回予想※)
1株当たり配当金（円）	中 間	50.00	50.00	50.00	50.00
	期 末	50.00	50.00	50.00	50.00
	合 計	100.00	100.00	100.00	100.00
1株当たり当期純利益（円）		182.13	132.40	191.63	-
配当性向（%）		54.9	75.5	52.2	-

※26/05/13公表値

- 25年度自己株式250億円取得、残り250億円の取得については実施時期を検討
- 26年度配当予想は年間100円/株

参考

連結業績推移

(単位：億円)

		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度 (予想)
売上高		10,644	10,056	10,634	10,199	11,700
営業利益		746	798	989	955	1,050
経常利益		900	959	1,030	1,068	1,070
親会社株主に帰属する当期純利益		503	573	580	416	590
為替レート [TTM期中平均]	(円/USD)	135.5	144.6	152.6	150.7	159.9
	(円/EUR)	141.0	156.8	163.9	174.6	185.1
国産ナフサ	(円/KL)	76,625	69,100	75,650	65,200	90,625
ベンゼン	(USD/T)	994	914	953	737	800~900
P V C	(USD/T)	965	777	745	637	750~850
V C M	(USD/T)	835	643	595	493	550~650
液体苛性ソーダ	(USD/T)	636	412	479	430	350~450
M D I (モノメリック)	(USD/T)	2,260	2,012	1,930	1,754	1,900~2,050
M D I (ポリメリック)	(USD/T)	2,074	1,668	1,893	1,637	1,900~2,050

売上高分析 - チェーン事業・先端事業内訳

売上高分析

(単位：億円)

	売上高			増減要因		
	25年度 1Q	26年度 1Q	増減	数量差	価格差	うち為替 の影響
チェーン事業	1,494	1,677	183	△ 15	198	47
オレフィン	261	285	24	△ 89	113	3
ポリマー	229	276	47	12	35	7
化学品	462	504	43	27	16	15
ウレタン	332	388	56	33	23	12
セメント	31	32	1	△ 3	4	1
有機化成品	178	191	12	5	8	8
先端事業	833	917	84	63	21	37
バイオサイエンス	154	154	0	△ 9	10	8
高機能材料	301	343	42	42	0	18
水処理エンジニアリング	378	420	42	31	11	11
その他	124	148	23	16	7	0
合 計	2,451	2,742	290	64	227	84

(注) 当期からのセグメント変更に伴い一部の事業の所管を見直したため、2025年度の数値につきまして、5/13発表の参考数値から一部変更しております。

＜＜注意事項＞＞

本資料の計画は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想です。従いまして、今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は計画値と大幅に異なる可能性があります。